

## 譫妄・脳血管性痴呆・アルツハイマー型痴呆の鑑別

	譫 妄	脳血管性痴呆	アルツハイマー型痴呆
発症の状況	急性～亜急性(しばしば夜間)	緩徐または脳卒中後	つねに緩徐
経過 持続	一過性 ときに遷延	慢性 階段状増悪	慢性 ゆっくり進行性
既往症 現病歴	身体疾患の合併	中枢神経系疾患が多い	中枢神経の変性
動揺性	多い(日内変動)	少ない	ほとんどない
病識の有無	ほとんど欠如	初期にはあり	初期にはあり
治療の可能性	大多数は治療可能	しばしば治療困難	ほとんど治療不可能
失見当	あり	軽症ではなし	軽症ではなし
注意力	注意集中困難	重症以外では保持	重症以外では保持
病像	痛覚などの低次元の神経機能も障害	知的機能障害がみたら感情失禁	初期から記憶障害 失見当 人格変化
覚醒水準	低下または過剰	ほとんど正常	ほとんど正常
睡眠	リズム障害 昼夜逆転	ふつうは正常	ふつうは正常
幻覚	しばしばある	ふつうはない	ふつうはない

